



## 月例山行

### 富士見台高原 1739m

10月22日 柴橋(L)、市橋、水野、中村、水谷  
▲中央道リニューアル工事と秋の行楽シーズンにもかかわらずほぼ順調に 8:20 駐車場へ到着。ロープウェイとリフトを乗り継いで 9:10 展望台に。

南アルプスが一望できる展望台は雲海スポットとして有名だが、この時間では無理。しばし景色を楽しんだ後、9:20 萬岳荘をめざし出発。

バス道の途中からパノラマコースを進み 10:00 に千両山を通過。霜の降りた登山道から神坂峠で再びバス道へ。10:30 萬岳荘に到着。小休止の後、10:40 富士見台高原をめざす。

ここからは、高木はなく見通しの良い一面の笹原を進み、11:10 富士見台に到着。雲一つない青空のもと、360度のパノラマを満喫。御嶽、乗鞍、穂高といった高山は雪化粧をし、美しい眺望を一層引き立たせていた。

好天に恵まれ、紅葉と最高の眺望を楽しめた山行であった。歩行距離約 10km。 ー記録：柴橋



## 屋久島・縄文杉を訪ねて

10月27~29日 市橋、水野

▲世界自然遺産の島屋久島。太古の原生林を中心に貴重な自然が溢れている屋久島。



山行記録は次号で！

## 山は 晩秋から初冬へ クマも冬眠支度

▲山の秋は早い。高山は早くも雪の衣をまとう中、元気な高齢者が野山へ繰り出し、慣れぬ山道で転倒し、あるいは疲れて歩けなくなり、スマホで救助要請。山は常に非日常である。低体温症で命を落とす事例も後を絶たない。

▲一方、クマに襲われる惨事も多い。今年はブナの実が不作で、冬眠前のクマが人里へ出没していると言われる。山中では上高地で、また焼岳で登山中襲われた事例もある。



▲山でクマに出会ったら？ (Net から)

① 50m以上離れている時

刺激せず、静かに後ずさりして離れる。

② 20m以内の時 クマは無視することもある。

静かに後ずさりし、大声や追い払ったりしない。こちらを見て鼻をヒクヒク、観察している時、野生の本能でどうするか考えている。近づいて来る可能性もある。静かに後ずさりしながらスプレーなどの準備をする。クマとの間に立木などが来るように動く。

③ 5m以内に来た時、クマは威嚇して走って来るが直前で左右へ避けて 山中へ逃げることもある。-----ここまでで助かることが多い。

逃げきれない時は、岩の上等に乗り立ち上がり、大きく見せ、大声で威嚇する。 十分な注意を！

## 穂高神社奥宮例大祭 上高地

▲10月8日、通称、お舟祭りが明神池で執り行われた。行事は穂高神社が御祭神とする穂高見命(ほたかみのみこと)に山の安全を感謝するもので、毎年同日に行われており、多くの観光客に見守られながら厳かに神事が始まった。龍頭鷁首(りゅうとうげきしゅ)の二艘の舟。平安朝装束を身に纏い、雅楽の調べの中、明神池の水面を滑る様子は、現代から切り離され遠い平安にいたようだった。

Net から

